



戦後 80 年企画

戦争継続を支えたメディア



国策紙芝居 をあなたは知っていますか IV

国策紙芝居とは第二次世界大戦中の日本において、戦争に対する国民の関心を高めるために製作、上演された紙芝居群のことです。また、戦時中においては日本国内のみならず、台湾や朝鮮半島でも戦争の正当性を訴えるプロパガンダの道具として広く活用されました。

国策紙芝居の目的は、戦争継続に必要な国威発揚を促すことであり、国民の戦意を向上される意図がありました。最盛期には年間 70 万部発行されたとされ、戦争継続の原動力の一つとされています。この度、(一財)子どもの文化研究所(東京都豊島区)の協力を得て、貴重な歴史的な文化財である国策紙芝居の一部を展示・実演する企画を行うことになりました。戦後 80 年、いま一度、平和の大切さについて一緒に考えてみませんか。

ながの子どもの文化研究所 代表 塚原成幸 (清泉大学短期大学部 教授)

<開催概要>

○国策紙芝居の展示 2025 年 8 月 1 日(金)～8 月 9 日(土)

10:00～17:00

場所:清泉大学図書館 1 階 <入場無料>



○国策紙芝居口演会 2025 年 8 月 3 日(日)と 9 日(土)のみ

10:00～12:00

国策紙芝居についてのミニレクチャーと実演を行います

場所:清泉大学図書館 1 階 <入場無料>



主催:ながの子どもの文化研究所

(事務局/清泉大学短期大学部・塚原研究室内)

協力:(一財)子どもの文化研究所

長野県紙芝居演者ネットワークの会(N-KEN)

問い合わせ先:清泉大学図書館(平日:10:00～17:00)

電話:026-295-1320 (平日:10:00～17:00)

講演会申し込みフォーム [本学のアクセスはこちら](#)

